

THE REBORN LIGHT PROJECT から生まれた自律型ソーラー街路灯

THE REBORN LIGHT 4.0

「自律型ソーラー街路灯 THE REBORN LIGHT」は、EV(電気自動車)の使用済みバッテリーとリサイクルスチールからできている、電線を必要としない、環境に配慮した自律型ソーラー街路灯です。そのため、災害時や停電発生時にも消灯することなく街路灯の機能を発揮します。



THE REBORN LIGHT 4.0 が開発されるきっかけとなったプロジェクト『THE REBORN LIGHT PROJECT』
「走る」役目を終えたバッテリーは「自然」にやさしい街路灯に「生まれ変わる」



PROJECT : 2019年3月 福島県浪江市 国道114号線

世界をより良くするために、電気自動車だからこそできることはないかそんな想いから生まれたのが THE REBORN LIGHT 電気自動車のリユースバッテリーとリサイクルスチールにより生まれ変わったライトが人のために街を照らします

THE REBORN LIGHT PROJECT は、発電所にも送電インフラにも頼ることなく、街を、道路を照らすことができます
この THE REBORN LIGHT により、日本の今まで照らせなかった場所世界の照らせなかった場所に灯りを届けるというコンセプトのもと PROJECT は進められています

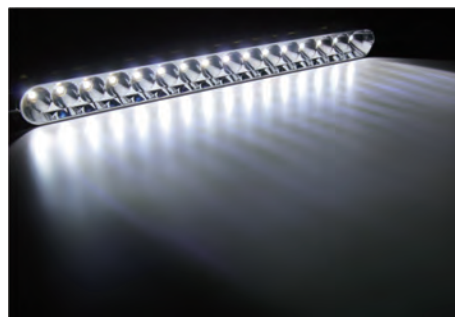
特長 MIRAI-LABO の3つの技術の集大成

EV リパーパスバッテリー



高性能な EV バッテリーを MIRAI-LABO の MBMS 技術で再製品化(リパーパス)し、長寿命と安定性を兼ね備えています。

LED ライト



MIRAI-LABO の高効率リフレクター技術と低電流駆動回路により、通常の LED ライトよりも省エネで明るく照らすことができます。

ソーラー発電



非結晶系ソーラーパネルと MIRAI-LABO のコントロール技術によって、雨の日や曇りの日でも発電を継続することができます。

THE REBORN LIGHT 製造の流れ



4.0 から進化した、スマートポールにもなるソーラー街路灯
THE REBORN LIGHT smart

THE REBORN LIGHT smart は、自律型ソーラー街路灯としての役目だけでなく、カメラや通信、センサーなど様々な機器を接続してスマートポールとして活用することも可能です。商用電源を必要としないため、災害時や停電時には電源スポットとしても活躍します。今まで電気がない場所ではできなかったデータ取得や遠隔監視などを可能にし、DX/GX 推進や災害に強いまちづくりに貢献します。



活用例



THE REBORN LIGHT smart

